

社会資本総合整備計画（新規）

◆計画の名称：安全で安心な使いやすいみなとづくり

◆計画の期間：平成24年度～平成28年度 5年間

◆交付対象：苫小牧港管理組合

◆計画の目標：港湾施設等の整備を適正に行い、安全で安心な使いやすいみなとづくりを行う。

◆計画の成果目標：

○苫小牧港西港区西ふ頭埠頭内道路の改良計画総延長1,320mのうち890m迄改良を進捗させる。

○苫小牧港西港区東ふ頭岸壁の改良計画総延長120mのうちエプロン120m及び付属施設の改良を進捗させる。

○苫小牧港西港区南ふ頭岸壁の改良計画総延長195mのうちエプロン195m及び付属施設の改良を進捗させる。

○苫小牧港における船舶入出港及び港湾施設に係る各システムを再構築する。

◆交付金対象事業：

事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業 (百万円)
			H24	H25	H26	H27	H28	
西ふ頭埠頭内道路改良	道路改良	苫小牧港・西港区						348
岸壁(東ふ頭)改良	エプロン改良、付属施設改良	苫小牧港・西港区						62
岸壁(南ふ頭)改良	エプロン改良、付属施設改良	苫小牧港・西港区						40
業務処理システム構築	システム構築	苫小牧港						182
合 計 (港湾事業)								632

◆事業評価：

苫小牧港管理組合では、目標の妥当性、計画の効果・効率性、計画の実現可能性の3点について評価をしています。

評価内容は、次項に示しています。

事業評価

項目	評価項目	評価	備考
目標の妥当性	上位計画との整合性	○	苫小牧港港湾計画と整合した整備計画である。
	地域の課題への対応	○	地域課題を踏まえた整備計画である。
計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性	○	整備計画の目標に合致した定量的指標である。
	定量的指標の明瞭性	○	客観的な指標である。
	目標と事業内容の整合性	○	目標に対応した事業内容である。
	事業の効果の見込みの妥当性	○	目標の妥当性より事業効果は十分期待できる。
計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境	○	関係者等の理解と協力を得ており、円滑な事業遂行ができる。
	地元の機運	○	利用者からの強い要望があがっている。

苦小牧港計画平面図

計画の名称	安全で安心な使いやすいみなとづくり		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度	5年間	交付対象 苦小牧港管理組合

